

電気代が高い理由は3つ、みんなエコのせい

杉山 大志 (すぎやま たいし) 一般財団法人キャノングローバル戦略研究所 研究主幹

電気代が高騰している。この理由は3つある。反原発、再エネ推進、脱炭素だ。

1. 原子力の停止

原子力発電を運転すれば電気代は下がる。図1と表1は、原子力比率（＝供給される全電力に占める原子力発電の割合）と家庭用電気料金の関係を示したもの。原子力比率の高い九州、関西は電気料金が低い。

反原発活動で知られる菅直人元首相は、首相退任後に原子力規制委員会ができたときに「すぐに原子力を動かさない仕組みを作った」と放言した¹。それから10年もたったが、いまだに、日本は多くの原子力を動かさないでいる。

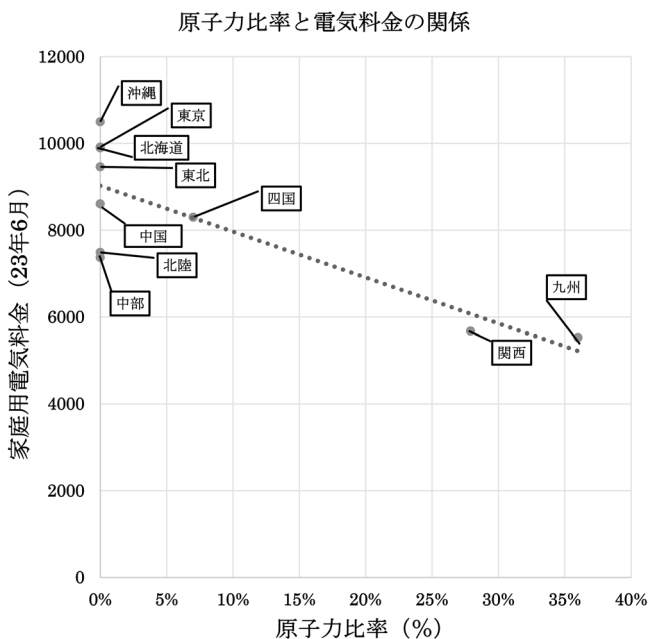


図1 原子力比率と電気料金の関係

表1

電力会社	原子力比率	23年6月料金
北海道	0%	9899
東北	0%	9462
東京	0%	9917
北陸	0%	7488
中部	0%	7369
関西	28%	5677
中国	0%	8608
四国	7%	8300
九州	36%	5526
沖縄	0%	10500

原子力比率は2021年度のもの。

データ出所(関西電力²、四国電力³、九州電力⁴)。

家庭用電気料金は日経新聞調べの標準家庭の規制料金⁵(2023年6月)。

¹ 株式会社エネルギーフォーラム HP <https://energy-forum.co.jp/online-content/8905/>

² 関西電力 HP https://kepcoco.jp/ryokin/power_supply/

³ 四国電力 HP https://www.yonden.co.jp/customer/composition_and_co2/index.html

⁴ 九州電力 HP https://www.kyuden.co.jp/rate_adj_power_composition_co2.html

⁵ 日本経済新聞 HP https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC259HB0V20C23A1000000/?n_cid=SNSTW005